

学年
通信

夢追人

令和7年6月17日
第10号
小代中学校3年生
発行者:梅谷俊平

各教科学習法 (実技教科編)

期末テストが近づいてきました。テストまでに、各教科の勉強について、私なりの勉強法(合うなら採用してください)を紹介します。これまでに進路学習で、公立一般入試の500点の半分は、内申点だという話も聞いていると思います。具体的な数字は、5教科が×4、実技教科が×7、5、になるので、実技教科の点数が、未来を左右するといっても過言ではありません。私が中学2年生の時、評定平均は3でした。3年生に進級し、この学習法を実践してから、評定平均が4、2まで上がりました。特に実技教科(技術家庭・保健体育・美術)では、有効な学習法なのではないかなと思います。

音楽と技術を例に紹介しようと思います。『花』のページには新しい音符が紹介されています。4分音符の長さを1とした時、この音符の長さは何と表されるかなど、出題されることもよくあります。『帰れソレントへ』のページには調の関係について説明したところがあります。同主調が何なのかという所まで理解しておけばいいですね。音楽の教科書は他の教科と比較すると文字は少ないですが、※印などで補足をしているところが所々に見られます。そういうところは要チェックですね。

技術では、教科書の太字を確認することが大切です。ただ、太字のHTMLだけを覚えては、HTMLが何なのか分かりません。右の図で色分けしていますが、赤は赤、青は青、余裕がある人は、黄色の所まで(似ているような用語が同じ箇所に揃っているのは出題のチャンス)おさえておきたいかもしれませんね。

【教科書が太字+プリントに書いてある+ワークで同じような問題がある=出る可能性が高い】
というのが、実技教科の鉄則です。

先生が話されていることを聞き逃さず、蛍光ペンで、教科書にチェックを入れる、アンダーラインを引くことを心がけましょう。よく、メモ帳や付箋に書き込む人がいます。それも悪くないのですが、順番を考えましょう。せっかく教科書に書いてあることをメモ帳に書いてあるので、時間のロスが多いのと、その間に別の重要事項を聞き逃すデメリットがあります。授業はチェックをすることに徹して、家庭学習の際に、それを自分のテスト勉強用のノートにまとめていく、という方法が非常にスムーズだと思います。以上、私からの提案です。検討(健闘)を祈っております。



「帰れソレントへ」では、同じ音(ハ音)を主音とする長調と短調が使われています。下の譜例で確認しましょう。



短調の階名 → レミレドシド ラー
長調の階名 → (ドー) ドシソラシソ

ここで短調の主音「ラ」が、そのまま長調の主音「ド」になっている。

こういう調の関係を「同主調」というんだよ。



著作権などの法律は変わっていくことがあります。最新の情報を得る必要があります。



Webでの情報の表現

Webページは、HTML (HyperText Markup Language) という言語によって記述されます。HTMLでは文書の構造をタグというしくみを用いて表現します。CSS (Cascading Style Sheet) は、文書の見たい目を指定するための言語で、文書中の見出しや背景などの要素について、文字の形や大きさ、色などを指定します。CSSを使うことで、Webページの見たい目を一度に設定・変更することができます。また、JavaScript というプログラミング言語を使うことで、Webページに動きをつけることができます (44頁)。